

## 平成30年度 遠別町各会計歳入歳出決算審査意見書

### 1 審査の対象

- (1) 平成30年度 遠別町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成30年度 遠別町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成30年度 遠別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成30年度 遠別町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成30年度 遠別町下水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成30年度 遠別町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (7) 地方自治法241条第5項の適用を受けない特定目的基金
  - ① 公共施設等整備基金
  - ② 減債基金
  - ③ ふるさと創生基金
  - ④ 地域振興基金
  - ⑤ 国保給付調整基金
  - ⑥ 介護保険給付費等準備基金
  - ⑦ まちづくり応援基金
  - ⑧ 遠別町・キャッスルガー市国際交流基金

### 2 審査の期間

令和元年7月16日から7月25日まで（7月23日及び土・日を除く7日間）

### 3 審査の方法

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに基金運用状況を示す書類について、関係諸帳簿、証書類及び各課から提出された資料と照合し、併せて関係職員の説明を求め、計数の正確性、予算執行及び基金運用上の適否等について審査した。

### 4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、関係法令に基づき調製されており、その計数は正確であると認めた。

また、各基金の計数も正確であり、適切に運用されていると認めた。

5 各会計に対する審査結果と意見

I 一般会計

【1】 財政の推移

平成30年度における一般会計決算額は、歳入総額5,113,414,851円、歳出総額5,055,715,848円、差引157,699,003円となり、その処理内容は基金繰入金39,699,003円、翌年度に繰越すべき財源15,000,000円、翌年度繰越額3,000,000円となっている。  
なお、過去5ヶ年の決算状況は次表のとおりである。

区分 年度	歳入決算額 (A)		歳出決算額 (B)		収支差引額 (A) - (B)	
	金額	収納率 (%)	金額	執行率 (%)	前年対比 (%)	前年対比 (%)
26	3,921,935,394	99.7	3,835,614,363	95.0	93.4	86,321,031
27	4,127,025,881	99.7	4,013,440,365	84.5	104.6	113,585,516
28	4,882,988,061	99.7	4,791,117,597	91.6	119.4	91,870,464
29	4,645,549,275	99.8	4,606,213,315	96.1	96.1	39,335,960
30	5,113,414,851	99.9	5,055,715,848	95.4	109.8	57,699,003

(単位:円)

【2】 財政収支の状況

平成30年度の実質収支は42,699千円であり、前年度実質収支22,236千円と比較すると、単年度収支は20,463千円増となる。  
実質単年度収支は次表のとおり、本年度は12,750千円である。

区分 年度	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	形式収支 (A)-(B)=(C)	翌年度繰越財源 (D)	実質収支 (C)-(D)=(E)	前年度実質収支 (F)	単年度収支 (E)-(F)=(G)	積立金 (H)	繰上償還金 (I)	積立金取り崩し額 (J)	実質単年度収支 (G)+(H)+(I)-(J)
27	4,127,026	4,013,440	113,586	9,125	104,461	65,186	39,275	62,300	0	0	101,575
28	4,882,988	4,791,118	91,870	20,000	71,870	104,461	△ 32,591	4,236	65,208	0	36,853
29	4,645,549	4,606,213	39,336	17,100	22,236	71,870	△ 49,634	7,650	0	300,000	△ 341,984
30	5,113,415	5,055,716	57,699	15,000	42,699	22,236	20,463	7,287	0	15,000	12,750

(単位:千円)

第1歳入

(1) 収入状況

平成30年度歳入予算額5,299,098,000円に対し、調定額5,117,200,731円、収入済額5,113,414,851円、不納欠損額395,743円、収入未済額3,390,137円と  
なっており、収入率は調定額に対して99.9%(前年度 99.8%)である。

なお、各款別における収入状況は次表のとおりである。

款	予算現額	調定額(A)	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (B/A×100)
1 町						
税	290,846,000	297,126,179	295,005,183	302,873	1,818,123	99.3
町民税	146,091,000	148,488,756	148,145,560	21,373	321,823	99.8
固定資産税	105,862,000	108,903,102	107,125,302	281,500	1,496,300	98.4
その他	38,893,000	39,734,321	39,734,321	0	0	100.0
2 地方譲与税	52,660,000	52,660,000	52,660,000	0	0	100.0
3 利子割交付金	440,000	440,000	440,000	0	0	100.0
4 配当割交付金	599,000	599,000	599,000	0	0	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	525,000	525,000	525,000	0	0	100.0
6 地方消費税交付金	56,512,000	56,512,000	56,512,000	0	0	100.0
7 自動車取得税交付金	11,666,000	11,666,000	11,666,000	0	0	100.0
8 地方特例交付金	421,000	421,000	421,000	0	0	100.0
9 地方交付税	2,239,926,000	2,239,926,000	2,239,926,000	0	0	100.0
10 交通安全対策特別交付金	0	0	0	0	0	0.0
11 分担金及び負担金	36,843,000	34,949,568	33,669,554	0	1,280,014	96.3
12 使用料及び手数料	81,298,000	78,520,965	78,136,095	92,870	292,000	99.5
13 国庫支出金	215,375,000	213,530,214	213,530,214	0	0	100.0
14 道支出金	451,467,000	402,455,778	402,455,778	0	0	100.0
15 財産収入	7,822,000	7,953,281	7,953,281	0	0	100.0
16 寄附金	133,290,000	88,181,000	88,181,000	0	0	100.0
17 繰入金	260,906,000	171,563,000	171,563,000	0	0	100.0
18 繰越金	20,100,000	20,100,000	20,100,000	0	0	100.0
19 諸収入	426,365,000	428,834,746	428,834,746	0	0	100.0
20 町債	1,012,037,000	1,011,237,000	1,011,237,000	0	0	100.0
合 計	5,299,098,000	5,117,200,731	5,113,414,851	395,743	3,390,137	99.9

(単位:円、%)

(2) 財源の構成  
 財源内訳は、自主財源1,123,442,859円で22.0%(前年度 25.7%)、依存財源3,989,971,992円で78.0%(前年度 74.3%)となっており、分析は次表のとおりである。  
 (単位:円、%)

年度 区分	科 目	平成30年度(A)			平成29年度(B)			比 率 (A/B×100)
		金額	自主、依存財源に 対する割合 (%)	総額に対する割合 (%)	金額	自主、依存財源に 対する割合 (%)	総額に対する割合 (%)	
自主財源	町							
	税	295,005,183	26.3	5.8	299,085,088	25.0	6.4	98.6
	分担金及び負担金	33,669,554	3.0	0.7	33,626,055	2.8	0.7	100.1
	使用料及び手数料	78,136,095	7.0	1.5	78,529,794	6.6	1.7	99.5
	財産収入	7,953,281	0.7	0.1	8,130,649	0.7	0.2	97.8
	寄附金	88,181,000	7.8	1.7	154,027,871	12.9	3.3	57.3
	繰入金	171,563,000	15.2	3.4	497,347,940	41.6	10.7	34.5
	繰越金	20,100,000	1.8	0.4	23,000,000	1.9	0.5	87.4
	諸収入	428,834,746	38.2	8.4	101,146,173	8.5	2.2	424.0
	計	1,123,442,859	100.0	22.0	1,194,893,570	100.0	25.7	94.0
依存財源	地方譲与税	52,660,000	1.3	1.0	52,253,000	1.5	1.1	100.8
	利子割交付金	440,000	0.0	0.0	511,000	0.0	0.0	86.1
	配当割交付金	599,000	0.0	0.0	733,000	0.0	0.0	81.7
	株式等譲渡所得割交付金	525,000	0.0	0.0	749,000	0.0	0.0	70.1
	地方消費税交付金	56,512,000	1.4	1.1	55,607,000	1.6	1.2	101.6
	自動車取得税交付金	11,666,000	0.3	0.2	12,959,000	0.4	0.3	90.0
	地方特例交付金	421,000	0.0	0.0	349,000	0.0	0.0	120.6
	地方交付税	2,239,926,000	56.1	43.8	2,307,773,000	66.9	49.7	97.1
	交通安全対策特別交付金	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
	国庫支出金	213,530,214	5.4	4.2	338,871,592	9.8	7.3	63.0
道支	402,455,778	10.1	7.9	258,058,113	7.5	5.6	156.0	
町債	1,011,237,000	25.4	19.8	422,792,000	12.3	9.1	239.2	
計	3,989,971,992	100.0	78.0	3,450,655,705	100.0	74.3	115.6	
歳入合計	5,113,414,851		100.0	4,645,549,275		100.0	110.1	

(3) 歳入決算の概要

歳入決算額を町税と町税外に分けると次表のとおりである。

なお、町税の滞納繰越額は、町民税321,823円、固定資産税1,496,300円であり、当該年度における不納欠損処理額は302,873円である。滞納繰越については、前年度と比較すると減少しているが、引き続き、税負担の公平の原則等から徴収には更に最善の努力をされたい。

区分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率		前年度収入率
						予算対 (C/A×100)	調定対 (C/B×100)	
町税	290,846,000	297,126,179	295,005,183	302,873	1,818,123	101.4	99.3	97.0
町税外	5,008,252,000	4,820,074,552	4,818,409,668	92,870	1,572,014	96.2	99.9	99.9
計	5,299,098,000	5,117,200,731	5,113,414,851	395,743	3,390,137	96.5	99.9	99.8

(単位:円、%)

第2歳出

(1) 予算執行状況

平成30年度の歳出決算は、予算額5,299,098,000円に対し、支出済額5,055,715,848円である。予算額に対する執行率は95.4%(前年度96.1%)で、各款別における予算執行状況は次表のとおりである。

款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B/A×100)
1 議 会 費	40,155,000	39,769,691	0	385,309	99.0
2 総 務 費	1,168,972,000	1,078,039,960	0	90,932,040	92.2
3 民 生 費	475,296,000	454,277,062	0	21,018,938	95.6
4 衛 生 費	801,197,000	794,046,743	0	7,150,257	99.1
5 労 働 費	535,000	487,485	0	47,515	91.1
6 農 林 水 産 業 費	618,403,000	531,422,121	52,500,000	34,480,879	85.9
7 商 工 費	496,610,000	487,851,633	0	8,758,367	98.2
8 土 木 費	498,218,000	489,722,638	0	8,495,362	98.3
9 消 防 費	107,961,000	106,470,840	0	1,490,160	98.6
10 教 育 費	361,705,000	349,340,994	0	12,364,006	96.6
11 災 害 復 旧 費	974,000	5,000	0	969,000	0.5
12 公 債 費	494,369,000	491,578,681	0	2,790,319	99.4
13 諸 支 出 金	232,703,000	232,703,000	0	0	100.0
14 予 備 費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
歳 出 合 計	5,299,098,000	5,055,715,848	52,500,000	190,882,152	95.4

(単位:円、%)

(2) 性質別支出の動向  
 歳出決算を義務的経費と投資的経費に分類すると、義務的経費の支出は全体の44.6%(前年度53.4%)で、前年対比8.8ポイント減少している。  
 投資的経費の支出は36.5%(前年度18.8%)で、前年対比17.7ポイント増となっている。また、経常収支比率においては78.2%(前年度77.8%)で前年度比  
 0.4ポイント増となっている。

なお、性質別歳出における過去5ヶ年の内容は次表のとおりである。

性質区分	年 度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(A)		平成30年度(B)		対前年比 (B/A×100)
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	616,102	16.1	594,476	14.8	596,512	12.5	605,616	13.2	577,847	11.4	95.4
	物件費	496,553	12.9	547,531	13.6	584,189	12.2	582,627	12.7	568,685	11.2	97.6
	維持補修費	103,024	2.7	126,923	3.2	112,426	2.3	199,245	4.3	129,304	2.6	64.9
	扶助費	199,089	5.2	198,074	4.9	219,519	4.6	213,762	4.6	191,722	3.8	89.7
	補助費	876,569	22.9	804,514	20.1	1,189,885	24.8	856,757	18.6	790,481	15.6	92.3
	小計	2,291,337	59.8	2,271,518	56.6	2,702,531	56.4	2,458,007	53.4	2,258,039	44.6	91.9
投資的経費	普通建設事業費	585,687	15.3	510,992	12.8	1,017,264	21.3	846,347	18.4	1,845,607	36.5	218.1
	災害復旧事業費	20,186	0.5	37,319	0.9	11,367	0.2	20,044	0.4	5	0.0	0.0
	小計	605,873	15.8	548,311	13.7	1,028,631	21.5	866,391	18.8	1,845,612	36.5	213.0
その他	公債費	486,257	12.7	415,170	10.3	519,602	10.8	466,087	10.1	491,579	9.7	105.5
	積立金	12,994	0.3	254,774	6.4	136,782	2.9	450,054	9.8	94,230	1.9	20.9
	投資及び出資金・貸付金	53,146	1.4	20,840	0.5	20,000	0.4	20,000	0.4	20,000	0.4	100.0
	繰出金	386,007	10.1	502,827	12.5	383,572	8.0	345,674	7.5	346,256	6.9	100.2
	小計	938,404	24.4	1,193,611	29.7	1,059,956	22.1	1,281,815	27.8	952,065	18.9	74.3
合 計	3,835,614	100.0	4,013,440	100.0	4,791,118	100.0	4,606,213	100.0	5,055,716	100.0	109.8	

(単位:千円、%)

II 国民健康保険特別会計

本会計は、歳入歳出予算額373,105,000円に対し、次表のとおり収入済額349,528,267円、支出済額348,181,402円で、歳入歳出差引額1,346,865円を  
 国保給付調整基金に繰入れている。支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は272,600円で、保険税の滞納繰越額は2,078,583円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 国民健康保険税	77,236,000	79,683,271	77,332,088	272,600	2,078,583	97.0	90.7
2 道支出金	250,349,000	227,400,958	227,400,958	0	0	100.0	100.0
3 財産収入	4,000	3,360	3,360	0	0	100.0	100.0
4 繰入金	44,872,000	44,162,188	44,162,188	0	0	100.0	100.0
5 繰越金	630,000	629,011	629,011	0	0	100.0	100.0
6 諸収入	14,000	662	662	0	0	100.0	100.0
合 計	373,105,000	351,879,450	349,528,267	272,600	2,078,583	99.3	98.3

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
					平成30年度	平成29年度
1 総務費	23,011,000	22,625,434	0	385,566	98.3	98.9
2 保険給付費	232,077,000	208,132,958	0	23,944,042	89.7	90.0
3 国民健康保険事業費納付金	100,157,000	100,118,000	0	39,000	99.9	-
4 共同事業拠出金	1,000	147	0	853	14.7	-
5 財政安定化基金拠出金	1,000	0	0	1,000	0.0	-
6 保健事業費	7,548,000	7,047,410	0	500,590	93.4	83.3
7 基金積立金	4,000	3,360	0	640	84.0	51.8
8 公債費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0
9 諸支出金	10,256,000	10,254,093	0	1,907	99.9	99.9
合 計	373,105,000	348,181,402	0	24,923,598	93.3	94.0

(3) 国民健康保険税の課税調

年 度	課税対象世帯数・被保険者数				1世帯当り及び1人当り課税額			
	当初		決算		当初		決算	
	世帯数(戸)	被保険者数(人)	世帯数(戸)	被保険者数(人)	1世帯当り(円)	1人当り(円)	1世帯当り(円)	1人当り(円)
平成30年度	427	727	443	783	179,689	105,539	173,208	97,996
平成29年度	450	784	474	822	148,722	85,364	148,128	85,417
前年対比(増減)	△23	△57	△31	△39	30,967	20,175	25,080	12,579
前年対比増減率(%)	△5.1	△7.3	△6.5	△4.7	20.8	23.6	16.9	14.7

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

本会計は、歳入歳出予算額45,319,000円に対し、次表のとおり収入済額44,900,118円、支出済額44,900,118円で、歳入歳出差引額0円である。歳出執行率は99.1%(前年度99.2%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は0円で、保険料の滞納繰越額は27,260円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 後期高齢者医療保険料	26,001,000	25,693,660	25,666,400	0	27,260	99.9	96.3
2 国庫支出金	741,000	740,000	740,000	0	0	100.0	—
3 繰入金	18,573,000	18,493,718	18,493,718	0	0	100.0	100.0
4 繰越金	1,000	0	0	0	0	0.0	100.0
5 諸収入	3,000	0	0	0	0	0.0	100.0
合 計	45,319,000	44,927,378	44,900,118	0	27,260	99.9	97.8

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行率	
						平成30年度	平成29年度
1 総務費	885,000	821,328	821,328	0	63,672	92.8	56.0
2 後期高齢者医療広域連合納付金	44,414,000	44,078,790	44,078,790	0	335,210	99.2	99.3
3 諸支出金	20,000	0	0	0	20,000	0.0	99.3
合 計	45,319,000	44,900,118	44,900,118	0	418,882	99.1	99.2



IV 簡易水道特別会計

本会計は、歳入歳出予算額220,364,000円に対し、次表のとおり収入済額217,187,881円、支出済額216,490,831円で、歳入歳出差引額697,050円を翌年度に繰越している。一般会計からの繰入金は78,000,000円となっており、歳入の比率は使用料及び手数料41.9%(前年度38.1%)、国庫支出金5.1%(前年度7.4%)、繰入金35.9%(前年度33.0%)、繰越金0.4%(前年度1.2%)、諸収入が1.4%(前年度0.3%)、町債15.3%(前年度20.0%)となっている。

歳出執行率は98.2%(前年度99.1%)であり、支出内容は適正と認められた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は0円で、水道使用料の滞納繰越額は188,938円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 使用料及び手数料	91,337,000	91,011,479	90,822,541	0	188,938	99.8	99.8
2 国庫支出金	11,037,000	11,037,000	11,037,000	0	0	100.0	100.0
3 繰入金	80,632,000	78,000,000	78,000,000	0	0	100.0	100.0
4 繰越金	900,000	900,717	900,717	0	0	100.0	100.0
5 諸収入	3,058,000	3,027,623	3,027,623	0	0	100.0	100.0
6 町債	33,400,000	33,400,000	33,400,000	0	0	100.0	100.0
合計	220,364,000	217,376,819	217,187,881	0	188,938	99.9	99.9

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					平成30年度	平成29年度
1 衛生費	122,531,000	118,933,202	0	3,597,798	97.1	98.7
2 公債費	97,833,000	97,557,629	0	275,371	99.7	99.9
合計	220,364,000	216,490,831	0	3,873,169	98.2	99.1

(3) 簡易水道事業会計における過去5カ年間の給水原価及び供給単価表 (単位:円)

種目	年度				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給水原価	458.00	463.20	452.58	480.28	479.80
供給単価	258.14	259.59	259.67	259.78	261.45
差引	△ 199.86	△ 203.61	△ 192.91	△ 220.50	△ 218.35

V 下水道特別会計

本会計は、歳入歳出予算額351,738,000円に対し、次表のとおり収入済額350,114,008円、支出済額348,271,142円で、歳入歳出差引額1,842,866円を翌年度に繰越している。一般会計からの繰入金は120,000,000円となっており、歳入の比率は、分担金及び負担金0.3%(前年度0.4%)、使用料及び手数料9.4%(前年度10.2%)、国庫支出金25.1%(前年度22.4%)、繰入金34.3%(前年度35.8%)、繰越金1.1%(前年度1.0%)諸収入0.6%(前年度1.9%)、町債29.2%(前年度28.3%)となっている。歳出執行率は99.0%(前年度81.1%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は0円で、下水道使用料の滞納繰越額は36,579円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 分担金及び負担金	930,000	1,097,500	1,097,500	0	0	100.0	100.0
2 使用料及び手数料	33,074,000	33,045,552	33,008,973	0	36,579	99.9	99.8
3 国庫支出金	88,049,000	88,049,300	88,049,300	0	0	100.0	100.0
4 繰入金	121,726,000	120,000,000	120,000,000	0	0	100.0	100.0
5 繰越金	3,811,000	3,811,067	3,811,067	0	0	100.0	100.0
6 諸収入	1,948,000	1,947,168	1,947,168	0	0	100.0	100.0
7 町債	102,200,000	102,200,000	102,200,000	0	0	100.0	100.0
合 計	351,738,000	350,150,587	350,114,008	0	36,579	99.9	99.9

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					平成30年度	平成29年度
1 下水道費	237,071,000	234,153,030	0	2,917,970	98.8	73.4
2 公債費	114,667,000	114,118,112	0	548,888	99.5	99.6
合 計	351,738,000	348,271,142	0	3,466,858	99.0	81.1

VI 介護保険特別会計(保険事業勘定)

保険事業勘定は、歳入歳出予算額360,128,000円に対し、次表のとおり収入済額353,654,763円、支出済額348,972,239円で、歳入歳出差引額4,682,524円となっている。歳出執行率は96.9%(前年度92.4%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、第1号保険者現年度分普通徴収保険料の滞納額は0円、不納欠損額は0円、過年度分普通徴収保険料の滞納額は0円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 保険料	59,510,000	59,479,660	59,479,660	0	0	100.0	100.0
2 国庫支出金	94,671,000	92,043,901	92,043,901	0	0	100.0	100.0
3 支払基金交付金	89,827,000	88,479,003	88,479,003	0	0	100.0	100.0
4 道支出金	51,286,000	50,885,019	50,885,019	0	0	100.0	100.0
5 財産収入	10,000	4,733	4,733	0	0	100.0	100.0
6 繰入金	56,421,000	54,364,193	54,364,193	0	0	100.0	100.0
7 繰越金	8,399,000	8,398,038	8,398,038	0	0	100.0	100.0
8 諸収入	4,000	216	216	0	0	100.0	100.0
合 計	360,128,000	353,654,763	353,654,763	0	0	100.0	100.0

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行率	
					平成30年度	平成29年度
1 総務費	14,603,000	13,696,232	0	906,768	93.8	93.5
2 保険給付費	320,286,000	312,808,941	0	7,477,059	97.7	92.3
3 地域支援事業費	16,468,000	13,753,292	0	2,714,708	83.5	88.3
4 基金積立金	3,500,000	3,494,647	0	5,353	99.8	99.9
5 公債費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0
6 諸支出金	5,221,000	5,219,127	0	1,873	99.9	99.9
合 計	360,128,000	348,972,239	0	11,155,761	96.9	92.4

Ⅶ 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

介護サービス事業勘定は、歳入歳出予算額5,552,000円に対し、次表のとおり収入済額5,635,260円、支出済額5,051,865円で、歳入歳出差引額583,395円を翌年度に繰越している。歳出執行率は91.0%(前年度95.2%)であり、支出内容は適正と認めた。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成30年度	平成29年度
1 サービス収入	1,057,000	1,206,900	1,206,900	0	0	100.0	100.0
2 繰入金	4,197,000	4,131,114	4,131,114	0	0	100.0	100.0
3 繰越金	297,000	297,239	297,239	0	0	100.0	100.0
4 諸収入	1,000	7	7	0	0	100.0	100.0
合 計	5,552,000	5,635,260	5,635,260	0	0	100.0	100.0

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行率	
					平成30年度	平成29年度
1 総務費	3,971,000	3,870,342	0	100,658	97.5	99.8
2 サービス事業費	1,449,000	1,050,409	0	398,591	72.5	74.9
3 公債費	132,000	131,114	0	886	99.3	99.3
合 計	5,552,000	5,051,865	0	500,135	91.0	95.2

## 6 総括

一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算は、計数に誤りがなく、証書類も整備され会計経理は概ね良好であったが、平成30年度各会計歳入歳出決算審査においての指摘事項は、次の4点である。

### 1. 徴収業務について

現年度分の町税・保険料が3年続けての完納と、固定資産税現年度分についても完納となり、また、滞納繰越額も減少してきており、職員の鋭意努力により町民の納税意識が高くなっていることが見受けられ、大いに評価します。

一方、徴収事務において、一人で徴収しているケースが見受けられます。これは、徴収時のトラブル等の防止のためにも、徴収業務においては複数で行うよう願います。

### 2. 繰替運用利率について

財政調整基金から一般会計への繰替運用利率が0.002%のところを0.02%で算定され、財政調整基金に多く支出されてきました。桁数の誤りであり、十分注意願います。今後の修正処理として、令和元年度において、財政調整基金から一般会計に戻すよう指示しました。

### 3. 補助金・助成金・交付金等について

住宅リフォーム助成事業において、要綱の補助対象者条件を満たしていない申請者に対し、補助金の決定をした案件が見られました。要綱にそぐわない運用であり、他の部署においてもそぐわない案件が見られており、規定を遵守するよう指導します。

### 4. 複数年度契約に対応した条例制定について

昨年度、複数年度契約に関して指摘し、ルールづくりを検討するとの回答をいただいていたところであり、進捗状況を確認しましたところ、基本は単年度契約であり、複数年度契約に関するルールづくりの必要性を慎重に検討中であることを確認しました。

一般会計歳入歳出決算書の財政状況指数（特に経常収支比率、公債費負担比率）及び健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）は、前年度に比べて多少の変動はあるものの良い傾向が続いている。今後においても更に経費の削減と自主財源の確保に努められたい。